



小倉祇園太鼓調査委員会が3年間にわたり行った調査で
収集した貴重な写真や祭りの歴史、太鼓芸能を解説した
パネルを展示し、資料映像集の上映も行います。
また、文学作品に描かれた小倉祇園太鼓の姿について
貴重な資料とともに展示します。

四百年の鼓動

小倉祇園太鼓四〇〇周年行事 歴史展

国重要無形民俗文化財 指定記念



2019

会期

6月22日

8月18日

【開館時間】9:30~18:00 (入館は17:30まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)

入場無料

小倉祇園太鼓とは

小倉祇園太鼓(こくらぎおんだいこ)は北九州市小倉北区を中心に、小倉祇園祭の際に演じられる太鼓芸である。小倉城を築城した細川忠興公が、城下の無病息災と繁栄を願い、元和年間に始めたとされ400年の歴史を有する。江戸時代は八坂神社の神幸行事としての「廻り祇園」が中心で、各町内が笛、鼓(つづみ)、鉦(かね)をはじめ、山車、傘鉾、踊車、人形飾り山などの出し物を、町内単位で披露していた。明治、大正時代を経て、山車の前後に太鼓を載せる現在の形となった。全国的にも珍しい太鼓の両面かつ歩行打ちが特徴で、太鼓、チャンガラ(摺り鉦)、山車をひく子どものお囃子が一体となり、三拍子で刻む太鼓の「響」は夏の小倉の風物詩となっている。

開催場所

北九州市立文学館



〒803-0813
北九州市小倉北区内4-1
TEL 093-571-1505 FAX 093-571-1525
www.kitakyushucity-bungakukan.jp/

アクセス

- JR小倉駅から徒歩15分
 - JR西小倉駅から徒歩10分
 - 勝山公園(市立文学館前)バス停から徒歩1分
 - 北九州市役所前バス停から徒歩2分
 - 小倉北区役所前バス停から徒歩2分
 - 北九州市高速大手町ランプから2分
- 駐車場は最寄りの各有料駐車場をご利用ください。

主催 | お問合せ先

北九州市 TEL.093-582-2391 (市民文化スポーツ局 文化企画課 文化係)

協力 | 小倉祇園太鼓保存振興会